



1 明南小1年『明科南認定こども園との交流会をしよう！』 6月26日(金)

『HAPPY大作戦！』 1学年だよりから

以前、こども園の年長さんが校庭に遊びに来てくれたときに、子どもたちから「また遊んであげたい」という声があがりました。本当にこども園との交流会をやりたいと思っているのかどうか、今日は子どもたちと話し合いをしました。

交流会をやりたいと思っている子が大勢いましたが、中には、やりたくないと思っている子もいました。やりたい理由は「遊べるから」、「楽しそうだから」、「おもしろいから」、「きっと楽しい気分になれるから」。一方、やりたくない理由は「前に、抱きつかれて嫌だったから」、「失敗したら（喜んでくれなかったら）嫌だから」、「ケガをさせちゃったら心配だから」でした。やりたくないと思っている子たちも、「やりたくない理由を解決できる方法があればやってもいい」とのことでしたので、“ルールを決めて”、“年長さんに喜んでもらえる”、“ケガのない”交流会を計画していくことになりました。やりたい派が多い中、やりたくない理由を言うのはとても勇気のいることだったと思います。でも、正直な気持ちを話してくれたおかげで、交流会の目標を決めることが出来ました。

「年長さんと仲良く遊んで」、「年長さんに笑顔になってもらう」、「難しいかもしれないけれどチャレンジしてみる」交流会。先日決めた学級目標の合い言葉とぴったり！ということで、この交流会を『HAPPY 大作戦！』と名付けました。

いつもの座席ではなく、こんな風に話し合いをしました。子どもたちが友だちと顔を合わせながら意見を出し合います。担任は輪の外で、子どもたちから出てきた意見をメモしていくだけ。行き詰まったときには助けを出そうと思いますが、子どもたちが「やりたい」と願った交流会を、自分たちで考え作っていく、そんな交流会にしていけたらな。上手くいかないこと、意見がぶつかることもあると思いますが、チャレンジしてみる事が大事！！と思っています。



1年担任は、子どもたちの声をもとに、南こども園との交流会について子どもたちに投げかけました。担任から「園との交流会をやります。やることは・・・、準備する物は・・・」ではなく、仲間との語り合いから、子どもたちの意志で決めていけるようにしています。

昨年度、現1年生が年長の時に、当時の明南小1年生と計3回交流会を行いました。そんな経験も活かしながら、今度は、お兄さんお姉さんの立場で、目標に向けた楽しい交流会を企画し、実施することができたらいいですね。

2 明南小1年『交流会に向けて準備をしよう!』 7月6日(月)～交流会前日

<ぬりえ・おえかきグループ>



<たからさがしグループ>



<ぼおるあそびグループ>



南こども園との交流会が、7月14日(火)に決まりました。子どもたちの希望で3つのグループに分かれ、交流会当日に向けた準備を進めていきました。自分の意見が通らず喧嘩したり、やることが分からず泣き出したりする子もいました。でも、子どもたちは、担任の助けも借りながら、一つ一つ解決して乗り越えていきました。

ぬり絵を作り終えた「ぬりえ・おえかきグループ」は、年長さんに伝えることを考えました。ぬり絵のルールや大事なことを、思い浮かんだ子が言葉にしなから、みんなで1つずつ決めていきました(右記)。決まった後、言う言葉を分担しました。「1人ずつ言おうよ」「みんなで言おうよ」と意見が分かれましたが、6人グループだったので、6個ある内容を1個ずつ希望で決めて練習しました。「言う順番で並ぼう」「言い終わった人から座ろう」と工夫もしていきました。自分たちがやりたいと願う活動であること、そして、担任が子どもたちに委ねる姿勢を大切にすることが、子どもたち自らが考える意欲を高め、工夫し合う姿にもつながったと思います。

<はじめ>

- ①これから、いっしょにぬりえをするよ。
- ②けんかをしないよ。
- ③ひとのぬりえに、らくがきしないよ。
- ④すきないろで、ぬりえをするよ。
- ⑤ひとのぬりえを、まねしないよ。

<おわり>

- ①これで、ぬりえをおわります。

3 明北小2年『地域の方と将棋を楽しもう!』 7月9日(木)



2年生は、将棋が流行っています。9日(木)5校時に、地域の方をお招きし、一緒に将棋を楽しみました。地域の方が、子どもたちと関わっていただけることが、日常の当たり前になってきています。地域の方々も、子どもたちにとっては、自分たちの先生です。

